

## くるみんマーク認定を受けました

—本県では2年ぶり、5社目の認定

このほど、宮崎大学が厚生労働省より次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」に認定され、11月14日には本学において次世代認定マーク「くるみんマーク」の認定式が実施されました。

本学では、平成17年度以降、次世代育成支援対策推進法の施行を受け、行動計画の策定により職員が仕事と子育てを両立させることができ職員全員が働きやすい環境を整えることを目指した取り組みを行ってきました。今回は「子育て環境の整備や男女共同参画の推進に取り組む部署を設置する」等の項目を定めた平成23～24年度における行動計画の目標達成や、男性の育児休業取得や保育施設整備といった複数の認定基準を満たしたことにより厚生労働省からの認定を受けたもので、本県では2年ぶり5社目の認定となります。

認定式では、宮崎労働局長から菅沼学長へ認定証が手渡され、学長は「これまでの取り組みを社会的に認めていただいたことを受けてさらに働きやすい環境の整備に努めたい」と感想を述べられました。認定式後に行われた記者会見では、本学の取り組みやくるみんマークの意義などに対する質問が次々に出され、子育て支援に対する社会の注目度がうかがえました。教職員の皆さんの声を頂きながら、さらに取り組みを進めますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



### Q. くるみんマークとは？

次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定を受けた事業主は、次世代認定マーク（愛称：くるみん、右図）を、商品、広告、求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることをアピールすることができます。



## ■ Essay 「大学に復帰して」

IR推進機構 特任教授 伊藤 勝昭 さん

私は、平成22年3月に農学部を定年退職し、同年10月よりニュージーランドに移住して、主に南島内を徘徊していました。半年近く経った頃、本学IR推進機構で働かないかとお誘いがかりました。時を前後して、クライストチャーチ大地震に遭遇し、危うく家屋の下敷きになりそうになったこともあり大学に戻ってきました。現在は、教員の職員（または職員の教員）という立場で教員と職員の橋渡しの役割を勤めています。

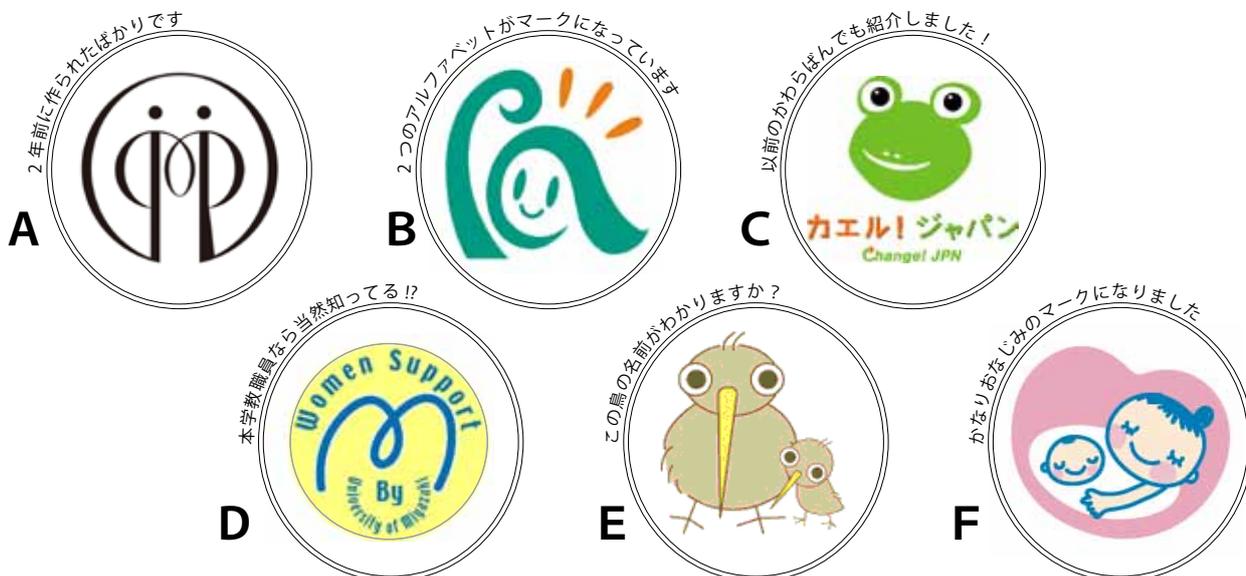
手前味噌に聞こえるかもしれませんが、大学にとって教員と職員のパートナーシップは重要で、そのために教員の職員の存在は貴重だと思っています。私のオフィスには女性が4人いて、男性は私だけです。女性たちのきめ細かい心配りによっていろいろ助けられることで私の仕事が成り立っていることは間違いありません。男性と女性それぞれが持つ特質をよく生かしたパートナーシップ（男女共同参画）ができ上がっています。

生きる基本は「働く・学ぶ・遊ぶこと」と思っています。大学に復帰したおかげで、これらがうまく調和し、快適な生活を過ごしています。

## くるみんマーク認定記念★ ロゴマーク・シンボルキャラクタークイズ!

このほど認定を受けた「くるみんマーク」については表面でご紹介しましたが、世の中にはいろんなロゴマーク・シンボルキャラクターがあるようですよ…。さて、皆さんはどれをご存じですか？

いくつわかるかな!?



**A：「男女共同参画」シンボルマーク（内閣府男女共同参画局）** / 男女共同参画社会基本法制定 10 周年を機に作成。男女が手を取り合っている様子をモチーフに、互いに尊重しあい、共に歩んでいけたらという願いをこめられています。

**B：ポジティブアクションシンボルマーク「きらら」（厚生労働省）** / ポジティブ・アクション（男女労働者の間に生じている事実上の格差の解消を目指す取り組み）の頭文字「p」と「a」を組み合わせせてデザインされています。

**C：「カエル! ジャパンキャンペーン」シンボルマーク（内閣府）** / 仕事と生活の調和の実現に向けて、現状を「変える」というちょっと勇気がいることを、馴染み深いカエルのキャラクターに託し、愛嬌をもって呼びかけているそうです。

**D：教職員の育児を応援します「子育て応援バッジ」（宮崎大学）** / 子育て中ではない教職員にも着用をしてもらうことで、全学的に子育てを応援する雰囲気醸成することが目的。立場によって異なる 3 色展開（ピンク・イエロー・グリーン）です。

**E：育メンプロジェクト公式ツイッターキャラクター「イクキューイ君」（厚生労働省）** / モデルはニュージーランドの国鳥キウイ。メスが卵を産み、オスが卵を温めて雛にかえすという習性があることで知られ、同国では子育てを手伝い、家庭を大事にする男性を「キウイハズバンド」と呼ぶのだとか。

**F：妊娠中の女性のための「マタニティマーク」（厚生労働省）** / 妊娠中であることが外見から見分けがつかない妊娠初期において、赤ちゃんの成長とお母さんの健康を維持するため、周囲の方に配慮を促すためのマークです。

◇あてなのらくがき◇このコーナーでは推進室で起こった出来事や話題を少しだけご紹介します

「宮崎大学研究者交流会」を開催しました!

宮崎大学では、一昨年から研究者有志の企画による交流会が開催しています。「学部や所属が違う人と出会いたい」「着任したばかりなので交流を広げたい」といった思いを実現するとてもなごやかな場です。今年の交流会は、11月29日に開催され30名以上が参加、大変有意義な時間となったようです! 今後も、こうした場が多く開催されることを期待したいと思います。ご参加の皆さん、ありがとうございました!!

### 宮大ハッピースローガン

隣の人の気持ち、考えてみませんか? 「ありがとう」の気持ち、言葉にしてみませんか?

忙しい毎日でも、ほんの少しか相手思いやる気持ちを持つだけで、ぐんと快適になります